

(1) 事業の目的

都市計画道路の無電柱化推進により、道路の防災性能の向上、通行空間の安全性・快適性の確保及び良好な景観形成を確保する。

(2) 指標：電線共同溝の整備率の向上

対象路線における無電柱化により、計画区間における電線共同溝の整備率を向上させる。

〔電線共同溝整備済延長/電線共同溝整備計画延長〕

指標の達成状況

平成31年度末の最終実績値は42.2%であり、目標値（39.5%）を達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H31当初	H31末最終目標	H31末最終実績	H31末達成率
電線共同溝の整備率	18.8% (390m / 2,076m)	39.5% (820m / 2,076m)	42.2% (877 m / 2,076m)	100%

(3) 指標に関連する実施事例

(都) 沼津南一色線 (沼津市江原町) (電線共同溝)



(4) 定量指標以外の効果発現状況

電線共同溝の整備により歩道内の電柱が撤去され、歩道幅員が確保でき、歩行者と自転車の走行位置を分離する等、通行空間の安全性・快適性の確保が図られている。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、関係市町と連携し、災害時に備えた都市部の防災性能の向上と、平時の安全で快適な自転車・歩行者空間の確保に努めるとともに、景観を生かした美しく魅力ある都市づくりに寄与していく。

当該路線の電線共同溝未整備箇所についても、個別補助事業にて事業を継続し、早期完了を目指す。